

京都家庭医療学センター

家庭医 後期研修プログラム

「学会認定申請中」

当プログラムは、家庭医を目指す医師のための後期研修プログラムの概要である。

具体的な研修時期、研修方略は、初期研修終了者の到達度が均一でないことも考慮し、個々人の到達度に応じたプログラムを組んでいくことを重視するものとする。

1) 研修の到達目標 (アウトカム)

後期研修終了時点で、診療所 (副) 所長を担い、それぞれの地域の医療ニーズに応じた家庭医療を実践し、安心して住み続けられる地域づくりに貢献することができる。

2) 個別目標

(現在検討中)

3) 研修期間

初期研修終了後、3年間を原則とする。

4) 研修の概略

- ・ 概ね以下のようなローテートを基本とする。
- ・ ただし、初期研修終了時点の各人の到達度や希望により、変更

することもあり得る。

- ・ また、ローテートの順番は、他の研修医や受け入れ院所などの関係で、前後することもあり得る。

① 1年次（3年目）：中央病院にて

6ヶ月間の指導医（上級医）研修・外来研修・在宅研修＋単位研修

6ヶ月間の選択研修

- * エコー、内視鏡、皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻科などの外来を中心とした研修などは、単位研修として履修しても良いし、選択研修として期間集中的に行っても良い。
- * **Half day back** など、継続的に家庭医療の **core** に触れる時間を持つ。
- * 3年目終了をめどに内科認定医を取得する。

② 2年次（4年目）：拠点病院にて

1年間、外来研修、在宅研修、病棟研修を中心に行う。

- * 外来研修は、診療所にて継続した単位を持つことが望ましい。
- * 院所の医療活動上の何らかの役割もしくは担当を担うことが望ましい。

③ 3年次（5年目）：診療所にて

3ヶ月～6ヶ月×2～4カ所の診療所研修を行う。

- * 立地条件や対象患者層の異なる複数の診療所を経験することが望ましい。
- * 地域診断および学会発表を必須課題とする。
- * 希望により、外部研修も含むものとする。

④ 4年次：研修終了者として、診療所（副）所長を担うことが望ましい。

- * 個人の志向により、病院業務を中心に行うこともあり得る。
- * プライマリ・ケア学会認定医の取得を目指す。